

平成25年度第2回川崎区区民会議すこやか・共に生きる部会摘録  
日 時：平成25年7月9日（火）午後6時30分  
場 所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 8名

石渡勝朗、新井トキ子、小泉忠之、知念ジョアンナ、富田順人、森脇卓郎、  
深澤香織、原千代子

参与 0人

傍聴 0人

1 開会

（1）事務局

- 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明
- 配付資料の確認

（2）部会長あいさつ

2 議題

（1）報告事項

ア 今後の審議スケジュールについて（資料1）

資料1に基づき、今後の審議スケジュール案について確認した。

（2）審議事項

ア 予防接種に関するアンケートについて

対象校：小学校（宮前、旭、川中島、藤崎、渡田、さくら）

中学校（富士見、川中島、桜本）

資料2に基づき事務局から、これまでの討議内容を踏まえた予防接種に関するアンケート調査の調査票の案が示され、討議した。

■主な意見

新井委員・知念委員 兄弟のいる家庭の場合、調査票がどの子が対象となる

のか、混乱を生む原因になるのではないか。

深澤委員・森脇委員 調査票に対象学年を記載し、年齢記入欄を削除すれば、

混乱は防げそうだ。

原委員 さくら小学校などでは、外国人の保護者の方も多い。外国人市民を

大切に、様々な場で多言語化を推進している区民会議の方向から考へても、  
調査票にルビが必要ではないか。  
事務局 回答しやすさを考へると、調査票は用紙1枚で抑えたい。ルビを入れ  
るのはスペース的に厳しい。

### ■討議結果

- 森脇委員より指摘にあった文面校正数か所について、反映する。
- 調査票はレイアウト等を工夫し、よりわかりやすく、答えやすい形式、枚数を検討し、調整する。
- 日本語、特に漢字表記を読めない日本語を母国語としない保護者を想定し、ルビや説明の入った別版を作成する。

## い イ 子どもを地域で支える、子どもの生きる力について（資料3）

資料3に基づき事務局から、これまでの討議内容を踏まえた今後の審議スケジュール、子どもを地域で支える仕組みの検討の大枠が示され、討議した。

### ■討議結果

- 小泉委員発案の囲碁を活用した地域での世代交流の取組は、区民会議も賛同した取組として推進する。
- 各委員が推薦母体団体など自分の地域や団体に持ち帰って、検討、呼びかけを進める。行政は側面支援を行う。

### ■主な意見

小泉委員 私の趣味でもある囲碁を活用した世代交流の取組について、区民会議の賛同を得られれば地域で進めてみたい。先生は既に確保できており、大師地区では大人を負かす子どもが育った例もある。

原委員 カローリングは、もともと田島地域で盛んだったが、区民会議で取り上げられ、世代間交流のツールとして提案されたことによって区全体で盛んになってきている。

石渡部会長 提案を実現していくためには、区民会議委員が協力していくことが必要だ。

## う ウ 外国人市民も住みやすいまちづくりについて（資料4）

資料4に基づき事務局からこれまでの検討経緯、課題解決策の検討例が示され、意見交換した。

### ■主な意見

石渡部会長 多言語に対応した問答集（Q&A）の作成は、窓口まで来た人にとっては良いが、役所の窓口までなかなか来られない人への支援も必要

だ。

事務局 麻生区役所で導入されたTV通訳システムは、日本語・中国語・韓国語の3言語について、年間30万円ほどの予算で、開庁時間中にTV画面を通じて専門の通訳を介したサービス提供が可能となっている。今年度から導入されたが、これまでの約3ヶ月で利用件数は計6件、全て同じ人の利用だったようだ。まだあまり知られていないようで、もっと利用を広げていきたいようだ。

知念委員 川崎市のホームページは多言語情報が多く、非常によくできている。しかし、この多言語情報があることや情報を手に入れる方法が知られていない。

原委員 役所の各窓口に外国市民応接の現状について調査したということだが、サービス提供側である行政からの視点だけでなく、利用者である外国人市民の視点から、感じていることや困っていることを聞く調査も必要ではないか。知り合いの研究者や外国人支援グループや多言語グループ、外国人の集まる教会などに心当たりがあるので、ぜひ調査してみたい。外国人の健康診断などが調査のタイミングとして良いと思う。来年2月の予定であり、少し時期が遅いが、相談活動なども同時に行われるのでチャンスだ。

## ■討議結果

- ・多言語に対応した問答集（Q&A）については、原案の作成を進める。
- ・原委員から提案のあった外国人市民を対象とした調査の実施を進める。来年2月の外国人健康診断時に実施する場合は、区民会議の提案まとめのタイミングより後となるが、その場合は調査の内容、計画までを報告し、取組を継続させる。

## エ 区民会議フォーラムについて（資料5）

資料5に基づき事務局から今年度の区民会議フォーラムについての企画概要、検討内容が示され、意見交換した。

## ■主な意見

新井委員・石渡部会長 フォーラムの実施を広く周知しなければ、参加者が確保は難しいのではないか。

福田委員 健康体操など、参加者が楽しめる企画があると良いのではないか。

新井委員 区民会議からの発表の仕方も工夫が必要と感じる。ただ説明するだけでは、なかなか分かってもらえないし、参加者にとってはつまらない。

新井委員 社会福祉協議会の役員研修での体操講師の方が良かった。その場

でできる体操など参加者が非常に楽しんでいた。  
原委員 何か参加型の企画ができると良いと思う。フロンターレの選手など  
呼べないか。  
深澤委員 健康推進のフラダンスなどはどうか。地域福祉の企画で  
ボランティアに来てもらい、会場の人と一緒に踊ったことがあった。また  
音楽では洗足学園大学の生徒さん4人ぐらいに来てもらいアンサンブルを  
演奏してもらった例もあった。トークも上手で好評だった。すごい音楽家  
やプロでなくとも、低予算で参加者が楽しめる企画は提供できる。

### ■討議結果

- ・フォーラムについては、全体の所要時間3時間程度で内容の検討を今後進め  
ていく。
- ・良いアイデアや企画があれば、7月中に事務局まで連絡することとした。

### 3 へいかい 閉会

あいさつとお礼 北沢副区長

(以上)